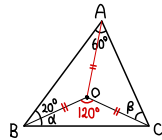


7

・五心についての求値問題

(例1) 右の図において、点Oは△ABCの外心である。

このとき、 α, β を求めよ。



円周角の定理より

$$\angle BOC = 2\angle BAC = 2 \times 60^\circ = 120^\circ$$

Oは外心より、 $OB = OC$ である。つまり△OBCは

二等辺三角形であるから

$$\alpha = \angle OBC = \frac{1}{2} \times (180^\circ - \angle BOC) = \frac{1}{2} \times (180^\circ - 120^\circ) = 30^\circ$$

同様に△OAB, △OCAも二等辺三角形であるから

$$\angle OAB = \angle OBA = 30^\circ$$

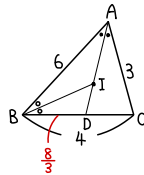
$$\angle OAC = \angle OCA = \beta$$

ここで、 $\angle BAC = \angle OAB + \angle OAC = 60^\circ$ であるから

$$30^\circ + \beta = 60^\circ \quad \therefore \beta = 30^\circ$$

(例2) 右の図において、点Iは△ABCの内心である。

このとき、 $AI : ID$ を求めよ。



ADは∠Aの二等分線であるから

$$BD : DC = AB : AC = 6 : 3 = 2 : 1$$

よって、

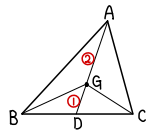
$$BD = BC \times \frac{2}{2+1} = 4 \times \frac{2}{3} = \frac{8}{3}$$

また、BIは∠Bの二等分線であるから

$$AI : ID = BA : BD = 6 : \frac{8}{3} = 9 : 4$$

(例3) 右の図において、点Gは△ABCの重心である。

このとき、面積比△ABC : △GBCを求めよ。



Gは重心より

$$AG : GD = 2 : 1$$

であるから

$$\triangle ABC : \triangle GBC = AD : GD$$

$$= (AG + GD) : GD$$

$$= 3 : 1$$